



## 新着図書紹介

日本の地方都市では中心市街地のシャッター通り化が深刻である。日本と同じく島国であり政治制度が類似しているイギリスの都市再生をヒントに、日本の地方都市の中心市街地活性化を提示するのが、本書『イギリスに学ぶ商店街再生計画／「シャッター通り」を変えるためのヒント』（足立基浩著、ミネルヴァ書房）である。イギリスに学ぶ都市再生のヒントは、各種商業施設をはじめとする町の魅力の差別化と、「個性を活かしながらの再生」にあるとしている。街の伝統的町並みを残すような都市再生を実施し、空き物件を貸しやすくし、その結果、ある程度資本力のある店（全国チェーン店も含む）を増やし、歩いて楽しいまちづくりを行う



四六判 210ページ  
定価 2,400円  
ミネルヴァ書房

ことで、郊外型店舗との差別化が可能となるだろうと筆者はみている。本書は、「商店街vs.郊外型の大形店舗」という旧来の構図を打破し、「個性を活かした都市再生」の視点から両者（共存共栄）の道を示す、興味深い本と言える。

旅行の成熟化を背景に旅行目的が多様化しているなかで、グルメツアーやご当地グルメ、ご当地ラーメンブームなど、「地域の食」を楽しむ新たな旅行スタイルが生まれ、定着してきている。日本のツーリズムにおいて重要な位置を占め始めたフードツーリズムについて、歴史の変遷、広範な旅行者を対象とした調査、フィールドワークなどから類型化し、全国各地で取り組まれている観光まちづくりにおけるフードツーリズムの活用の方をマーケティングの視点から分析したのが『フードツーリズム論／食を活かした観光まちづくり』（安田巨宏著、古今書院）である。本書では、フードツーリズムを高級、庶民、マルチ、食購買、食体験、ワイン・酒の六



A5判 258ページ  
定価 3,200円  
古今書院

つに類型化。持続可能なフードツーリズムを活かした観光まちづくりには、「まち」を商品として市場に売り込んでいく「まちマーケティング」が有用であることを明示している。（挑全）

### 利用状況

**ベストリーダー**（2013年11月～2014年1月）

当図書館への来館者によく閲覧されている本を紹介。

#### 【旅行ガイドブック部門】

海外旅行では、

- ・『地球の歩き方フランス2014-2015』（ダイヤモンド・ビッグ社）
- ・『るるぶシンガポール2014』（JTBパブリッシング）
- ・『地球の歩き方台湾2013-2014』（ダイヤモンド・ビッグ社）

国内旅行では、

- ・『まっふる山口・萩・下関 門司・津和野2014』（昭文社）

#### 【その他一般部門】

- ・『旅行年報2013』（公益財団法人日本交通公社）
- ・『JTBLレポート2013 日本人海外旅行のすべて』（JTB総合研究所）
- ・『観光白書 平成25年版』（国土交通省観光庁）

### 館長のつぶやき

観光に関わる資料の収集機能は、当財団が調査研究専門機関となった51年前の1963年に前組織から引き継いだもので、67年に「資料室」が発足……このほど「50年史」作成にあたり、「旅の図書館」の源流を振り返ってみた。

図書館としての開設は1978年だが、実はこの「資料室」が原点で、当時は欧米先進国を中心とする観光事業関係の最新情報を収集・翻訳し、ニュースとして発行していたという。その後、「教養型旅行者」ニーズへの対応として情報提供サービスを開始し、開館に至る。

時代と社会情勢に応じた情報収集、分析、発信・コミュニケーション。役割を再認識した。（久保田）

### 特別展示のご案内

#### おもてなしとホスピタリティ

2014年4月1日(火)～2014年5月30日(金)

2020年東京オリンピック招致をきっかけに世界に発信された日本語の「おもてなし」。いま日本では、「おもてなし」の心や文化をみつめなおし、世界に発信していこうという気運が高まっています。欧米では、他者を気持ちよくお迎えして心を込めて対応することは、「ホスピタリティ」という概念で説明されますが、「おもてなし」と「ホスピタリティ」はどのように違うのでしょうか、どのような共通点があるのでしょうか。

そこで今回は、「おもてなし」と「ホスピタリティ」をキーワードに、関連する国内外の図書、専門書、古書・稀観書（抜粋コピーを展示）等を集めてみました。

例えば、日本で「おもてなし」「ホスピタリティ」が一般に使われるようになったのは比較的最近で、以前は「接遇」「サービス」という言葉が頻繁に使われていたことなどが分かります。また米国では、「ホスピタリティ」の精神的・情緒的な側面だけではなく、宿泊・飲食・エンターテインメント等を総称する「ホスピタリティ産業」発展のための「ホスピタリティ・マネジメント」研究が進んでいるなど、時代や文化によってさまざまな特徴も見られます。

ぜひ多くの方に当館を訪れていただき、「おもてなし」と「ホスピタリティ」についてあらためて考える機会にしたいだければと思います。

\*詳細は、ホームページ<http://www.jtb.or.jp/>へ。旅の図書館特別展示で検索